

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年5月21日		
所属学部	教育学部		
所属学科・専攻	中学校英語科	学年	4年

1. 留学先について

留学先大学名	イリノイ大学シカゴ校		
留学先所属学部等	LAS(Liberal Arts and Sciences)-言語学部(MA-TESOLプログラム)		
留学期間	出発日 8月11日	入学日 8月25日	修了日 5月8日 帰国日 5月14日
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	5分	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	徒歩	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> ()人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (風呂、トイレ、洗面所共有) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 %	学食 99 %	外食 1 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	AIU Insurance Company (8UH)	
	大学指定の保険(名称)		<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電. 成田 ⇔ シカゴ(飛行機) ⇔ 寮(電車・徒歩)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	2,000,000	円	* おおよそでかまいません。				
出処							
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	1,200,000	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	800,000	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()			円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	100,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金			<input type="checkbox"/> キャッシング		<input type="checkbox"/> その他()

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)金額、クレジットカードで。

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	クレジットカード、現金

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			285,350	円
海外旅行保険			206,130	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証			20,000	円
住居			1,681,871	円
食費			(寮費に含まれる)	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			35,000	円
その他大学に支払った経費			44,711	円
光熱費			(寮費に含まれる)	円
その他 (携帯電話通信代)			127,418	円
その他 (その他生活費)			450,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 *必ず留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類ex.正規、聴講	単位数	単位認定の有無
1 Elementary Chinese 1	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 Independent Study	正規	2	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 Introduction to Academic Writing for the Nonnative Speakers of English	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 Introduction to the Study of Language	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5 Methodology of Second Language Teaching	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6 Elementary Chinese 2	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7 Independent Study (単位保留、一年以内に課題提出により単位認定)	正規	4	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
8 Materials and Curriculum Development in Second Language Teaching	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法 *登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

インターネット上のシラバスに、各コースの簡単な内容が紹介されており、それを見て大体の履修計画を作成する。その後、my uicの個人アカウントにて、履修登録専用ページで、その学期にコースが開講されているのか、をはじめ、コース日程や担当教員を確認する。確認後、同じページにて履修登録を行う。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業内容、方法は、各授業によるところが大きい。ただし、学生同士のディスカッションの重要性が高いというのは、どの授業においてもいえることであり、それが授業の中心になることも多い。また、授業は、基本学生自身が1授業に対して予習復習をすることを前提としており、その量は多い。

3-4. 図書館など学内施設について

全体的に、学内施設は、一般的な日本の大学に比べて充実している。自由に利用できるフリースペースやラウンジが多いことに加え、本格的なジムや、大きなパソコン室などの便利な施設もそろっている。図書館には多くの自習スペースがあり、学生の日々の学習の拠点となっている。開館時間も早朝から深夜までと、長い。

3-5. その他

イリノイ大学では、Blackboardという、インターネット上の学習、学生生活管理システムがあり、課題の提示、提出、家庭学習としてのディスカッション、成績確認、諸連絡の確認などなど、すべてそのシステム上で行われている。

4. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

寮生活は、安全管理上、アパートと比較して信用の高いものがあるが、完全に安全なものではなく、寮内で事件が発生することもあるため、注意が必要である。また、文化の違い等から、寮内でのトラブルが発生することもあるため、注意が必要である。

4-2. 食生活について

ミールプランは、現地生活における食事面での心配をしなくてよいこともあり、便利である。ただし、ミールプラン込のキッチンなしの寮に住んでいる場合は、長期休暇はミールプランでの食事ができなくなる(カフェテリアがしまってしまう)ため、注意が必要である。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

インターネット環境は部屋の位置、寮の種類などによる。基本、大学のWifiに接続することができるものの、日によってはWifiの調子が悪く、インターネット接続が不可能となることがある。

4-4. 服装について

日本の一般的な大学生に比べ、アメリカの大学生の私服はラフである。特に注意することはないが、シカゴなどの寒い地域では、冬の防寒対策が重要である。(冬用のコートなどは、現地のひとに相談して購入するとよい。)

4-5. 健康管理について

アメリカの大学では、日々出される課題が多く、課題を終わらせようと無理をして、生活リズムを崩してしまふ場合もあるが、できるだけ規則正しい生活を心がけ、メリハリを意識した生活をするのが大切である。友人と出かけたり、楽しいイベントを作ること、精神衛生上大切である。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

保険会社、OSSMAは、現地で病院へかかる時などに、相談にのって貰うとよい。

4-7. 課外活動について

アメリカの大学においては、クラブ活動、ボランティア活動、趣味や語学のサークルが充実しており、その経営は学生が中心になって行っている。内容は、スポーツや趣味のようなものから、人権保護、無国籍の学生の支援など、多岐にわたる。どの学生も、大概何かしらの課外活動を行っており、それは学生生活の大きな基盤の一つとなっている。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外においても、参加費無料のサークルや施設が充実しており、大学生においても、学外のコミュニティに参加している人が多かった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ご飯を2合分炊けるタッパー、文房具類(ペン、ノリ、消しゴムなど)、紙マスク、衛生用品、洋服

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

食品類、コート(現地生活するためにはさらに厚手のものが必要なため、現地で購入することとなった)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

習慣やマナーは、日本のそれと違うことが多く、戸惑うことがあった。また、それによって対人関係に苦戦したこともあった。ただし、結局は人それぞれであり、文化は違えど、対人関係は本人同士の相性の良しあしによるところが大きい。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

旅行には出かけていないが、冬休み期間中は、2人の友人のお宅にお世話になってホームステイをした。

5. 報告

5-2. 留学先大学について

米国シカゴにある、イリノイ大学シカゴ校に、留学しました。交通網の発達した都会の大学であるため、どこへのアクセスも容易な場所です。様々な民族が集うシカゴでは、文化の交流が盛んに行われており、多様な文化を肌で感じることができます。気候に関しては、年中風が非常に強く、地元の人々からは”Windy City”と呼ばれています。それでも春、夏、秋は比較的過ごしやすいのですが、冬はととても寒く、防寒対策が重要になります。

5-3. 留学中の様子

留学中は寮で生活していました。食事つきの寮であったため、日々の食事の心配をする必要がなく、また、必要な施設は寮内にあったため、新生活を始めるうえでは比較的便利でした。寮をはじめ、大きな図書館や本格的な設備の整ったジム、多目的集会場など、学内の施設はとても充実しており、快適に生活することができました。授業に関しては、日本に比べて出される課題が多く、評価も厳しいため、大変に思う部分も多くありましたが、その分モチベーションの高い学生が集う場合が多く、仲間と切磋琢磨しながら学びを深めることができます。授業のシステムがフレキシブルなため、学んでみたいと思うことを学べるのはこの大学の良いところでした。偶々先生に勧められて受けた大学院の授業では、自分の専門分野の知識を深めることができ、更に、学会発表の機会をいただき、貴重な経験をさせていただきました。授業は生活の中心になりますが、それだけではなく、サークル活動、ボランティア活動等をはじめとする、課外活動も学生生活の一部です。このような活動に積極的に参加するのも、人間関係を広げたり、興味を追究したりする上で重要になります。

5-4. 留学希望者へのアドバイス

留学では、人間関係の充実、学問の追究、自分探し等など、様々な可能性を広げることができます。それは、語学の発達とは別の、留学のコアになる部分だと思います。海外で学ぶ、生活をすると考えると、まずは語学面での不安や期待が大きくなりがちですが、それ以外に自分が現地で何をしたいのか、そのためにすべきことは何か、しっかりした意志があると良いと思います。海外に行けば、文化の違いをはじめ、日本と違う現実によく出会うため、楽しい部分だけでなく、苦勞をする部分も多いです。そんな中でも、自分の志をしっかりと持っていれば、どんなことも乗り越えていけます。そして、苦勞を乗り越えたからこそ得られる成長は、本当にかけがえのないものであると感じます。留学に行く際に、自分自身にその動機や目的を問うのは大切な第一歩となるはずで

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がいった部分、不安に思うことなどなんでも。

留学を終えて思うのは、いろいろな意味で、留学前に描いていた留学像と、留学を終えて振り返る経験が全く異なっている、ということです。予想以上に充実した部分たくさんありましたし、また、予想以上に大変な部分もありました。そんな中で、思いがけない出会いや経験を経て、少しずつ成長できたかな、と感じています。新しい地で一人きりでも、なんでも一人でする、そんな強い意志を持つこともできました。ただし、自分で様々なことを乗り越えられたのも、常に周りの助けがあったからです。留学に際して、様々な助言、助けをいただいた、国際交流センターのアドバイザーの方々、生活面、学業面ともに親身になって支えてくださった千葉大学の先生方や現地の先生方、いつもそばで、どんな時でも自分を支え続けてくれた家族と日本・シカゴの友人、自分の周りにいるすべての人たちへの感謝の気持ちを改めて感じることはできたのは、自分にとって何よりの財産です。そして、これからも、留学を通して感じた気持ちや気づいた大切なことを胸に、生きていきたいと思えます。また、留学先で深まった学びをきっかけに、自分の専門分野に様々な興味がわきました。今後は、大学院へ進学して、さらに学びを深めていけたらと思えます。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版